



バハイを知ろう

バハイとは？

バハイとは、何らかの宗派にも属さない、また宗派を持たない、独立した世界宗教です。また、バハイとはバハオラの教えに従う人々を指す言葉でもあります。

私たちバハイはバハオラが過去の教典を通じて約束された者であり、この時代の為に、神により使わされた顕示者であると信じています。

バイはまた、バイオラが、
聖書やコーリンなど過去の聖
典を通じて「平和と調和が地
上に築かれ、人類全体が繁栄
する」という古からの約束
を実現させるための教えを
持ってきた者であると信じて
います。

「全世界の癒しのための特効
薬、そして強力な手段として
主が定められた」は、世界
のすべての人々が 一つの普遍
的な大業、一つの共通の信教
のもとに和合される」である」

バイオラ



神

バハオラは神が本質的に知る事の出来ない御方であると教えています。

つまり、私達がどんなに知的であろうが、どんなに神について研究をしようとも、「創造された者」が「創造した者」の本質を理解することは出来ないのです。

どんな言語で神の名を呼ぼうが、またどのような名で呼ぼうが、それは同じ一つの神を指しており、神はすべての物の創造主であります。

神は天と地を創られ、山や谷、砂漠や海、川、草原、木を創られました。また神は動物を創り、人間を創られました。

全ての創造には理由があります。そして、バオラ曰く、私達人間が創られた理由は、「愛」ということです。

『おお人の子よ！我、汝の創造を愛した。さればこそ、我、汝を創つた。』

されば、汝、我を愛せよ。我、汝の名を呼び、汝の魂を生命の精気もて満たし得んがために』

バオラ

聖約

神の存在は私達の理解を超えたものではありません。

しかし、彼の愛は止むことなく私達に届いています。また、この愛は「永遠の聖約」を通して私達に届けられます。

「永遠の聖約」とは、神は決して導きなしに人間を置き去りにすることはないという古からの神からの約束です。

たとえ人類が神から離れ、教えを忘れようとも、必要とされる時、神はその時代の人類が必要とする顕示者を遣わします。

また、神はこの顕示者を通じて、人々を導き、その意志と目的を私達人間に明らかにします。



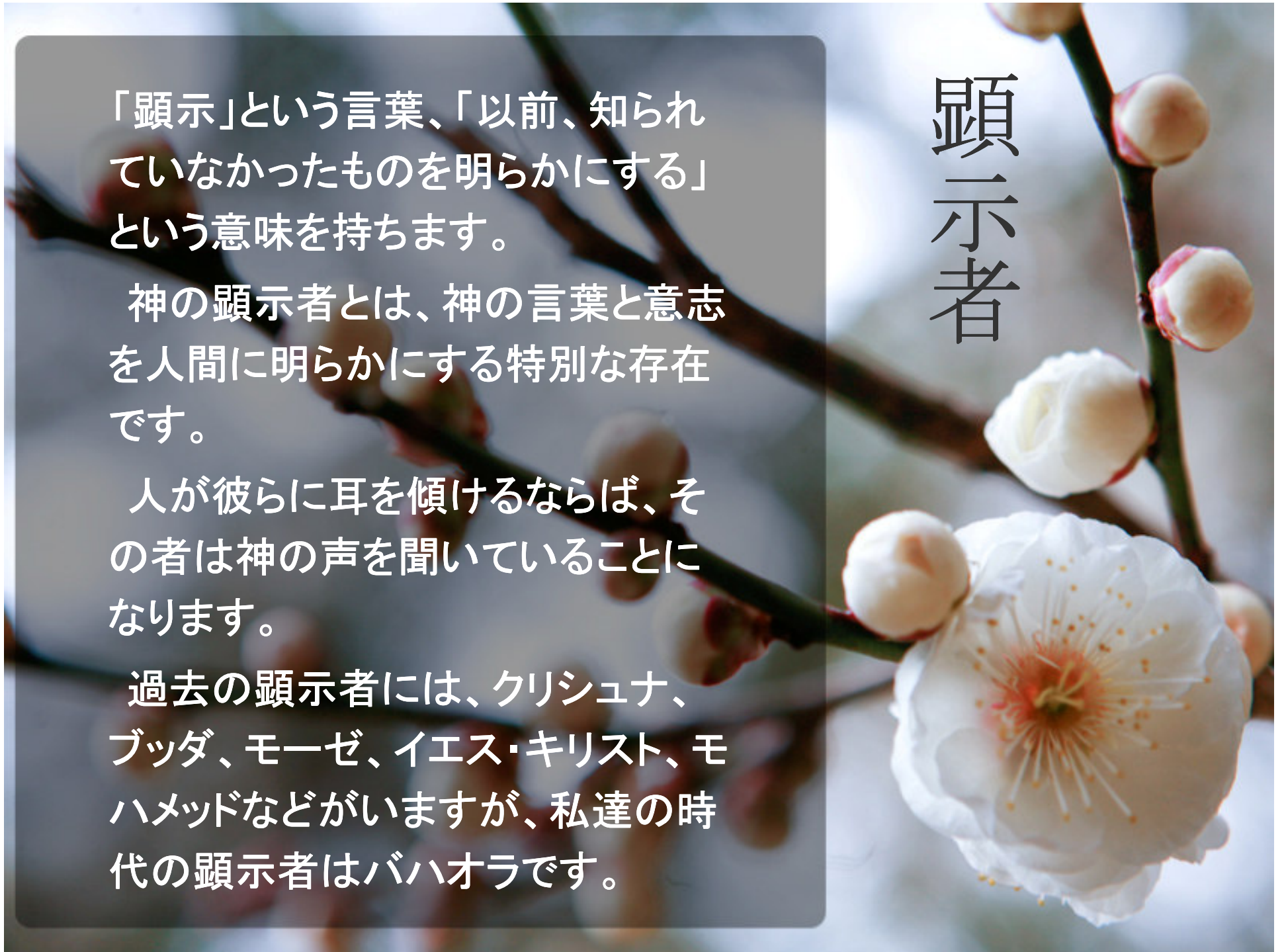
「顕示」という言葉、「以前、知られていなかったものを明らかにする」という意味を持ちます。

神の顕示者とは、神の言葉と意志を人間に明らかにする特別な存在です。

人が彼らに耳を傾けるならば、その者は神の声を聞いていることになります。

過去の顕示者には、クリシュナ、ブッダ、モーゼ、イエス・キリスト、モハメッドなどがいますが、私達の時代の顕示者はバハオウです。

顕示者



顕示者

この世では、太陽が全ての暖かさと光の源です。太陽なしでは地上に生命はありません。

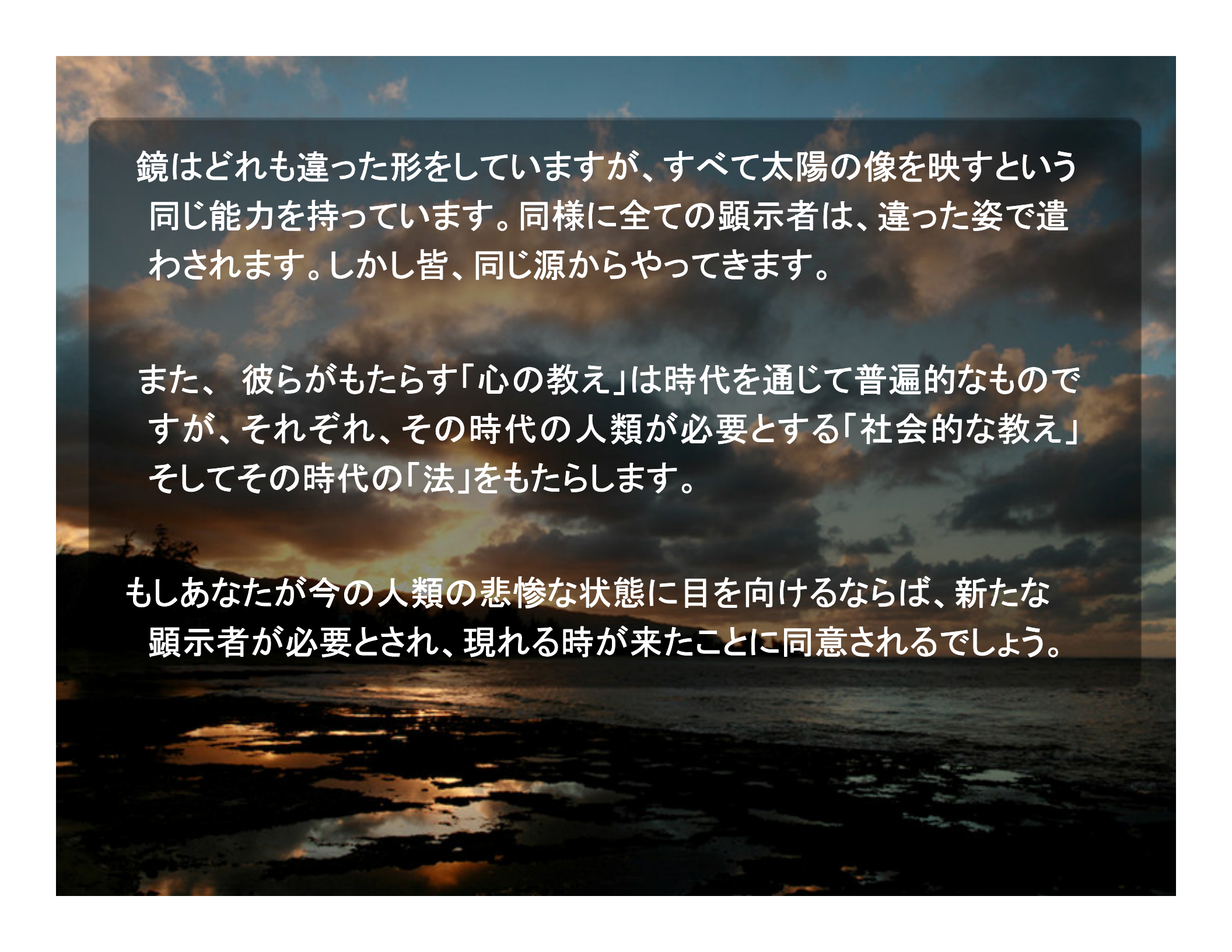
もちろん、太陽自体は地球に降りてくることはありませんし、私たちも太陽に近付くことはできません。

それこそ、近づくことができたとしても、その熱で我々は焼け焦げて消滅してしまいます。

しかしよく磨かれた鏡を太陽の方に向けると、太陽が近づいてこなくても、その完全な像を見ることができ、地上に持ってくることができます。

いうならば、神は太陽であり、鏡は顕示者に当たります。



A sunset over a body of water with a dark semi-transparent text box overlaid. The sky is filled with dark, dramatic clouds, and the sun is low on the horizon, casting a golden glow. The water in the foreground is dark, with some lighter patches reflecting the light from the sky.

鏡はどれも違った形をしていますが、すべて太陽の像を映すという同じ能力を持っています。同様に全ての顕示者は、違った姿で遣わされます。しかし皆、同じ源からやってきます。

また、彼らがもたらす「心の教え」は時代を通じて普遍的なものです。それぞれ、その時代の人類が必要とする「社会的な教え」そしてその時代の「法」をもたらします。

もしあなたが今の人類の悲惨な状態に目を向けるならば、新たな顕示者が必要とされ、現れる時が来たことに同意されるでしょう。

今日こそは、
神の最もすばらしい恩寵が
人々の上に注がれている日であり、
彼の最も偉大なる恩恵が
すべての創造物の中に
注入されている日である。
自分たちの間の不和を和解させて
完全な統合と平和のうちに、
彼の保護と慈愛の下陰に
とどまるようにするに、
世界中の人々の義務である。

バハオウ

人類の和合

バハイが目指していることは、人類の和合です。バハイの教えの中で、私達は一つの木の果実、一つの枝の葉であると教えられています。

姿や感情は違っていても、才能や能力は違っていても、私達のルーツは皆同じです。人類という同じ種族に属しています。

人類は広大な庭に例えられます。そこでは形や色や香の違う花が、肩を寄せ合って咲いています。

多様性こそが庭の魅力であり美しさなのです。

だが悲しいことに、多くの戦争や国内の紛争が起こり、人々は敵意と無知と偏見と我欲に取り付かれています。

バハオウは、この時代は人類はひとつという教えに沿って考え、行動することが求められると教えています。

The Oneness of Humanity

戦争の考えが起こった時は、
それに勝る平和への思いで
反対しなさい。
憎しみの思いは、
より強力な愛の思いで
滅ぼさなければなりません。

アブドル・バハ

バハオラ

バハオラは1817年、ペルシア帝国（現在のイラン）の首都であるテヘランで生まれました。

幼い頃より人知を超えた才能と知識を現していたバハオラは学校では学ばず、家での最低限の指導以上の学びを必要とはしませんでした。



バハオラの人生



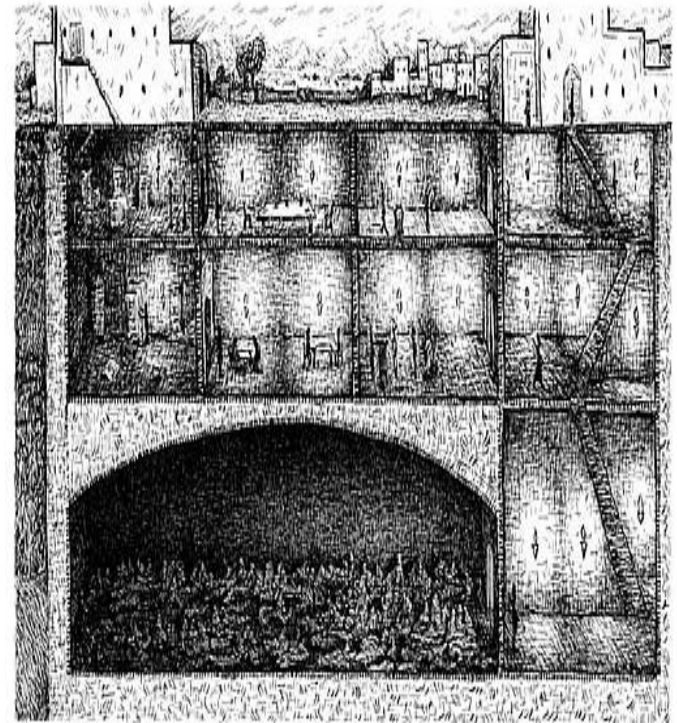
高貴な家庭に生まれたバハオラは、若い頃、国王の宮廷で働くという高い地位を与えられたものの、彼はそれを断りました。彼は打ちひしがれた人達、病人、貧しい人達のために時間を捧げることを望んでおられました。バハオラの人類に対する愛情はそれ程強いものだったのです。

バハオラの苦しみ

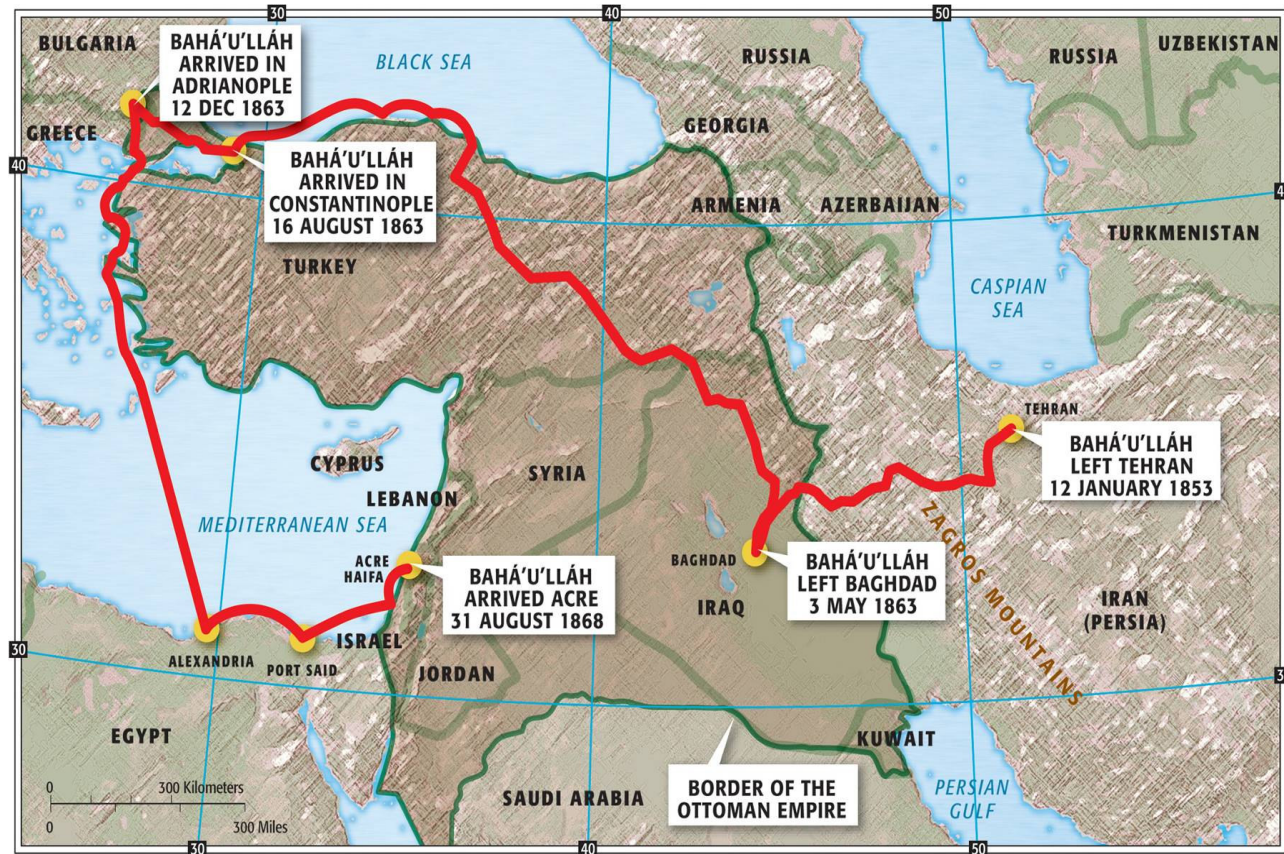
バハオラの苦しみは神の大業を宣布しようとした時に始まりました。彼は迫害され、投獄され、追放されました。テヘランの牢獄では鎖につながれ、4ヶ月の間、暗黒の地下牢に閉じ込められました。



SOUTHERN PART OF TIHRÁN WHERE CRIMINALS WERE HANGED AND WHERE MANY BAHÁ'Í MARTYRDOMS TOOK PLACE (MARK X INDICATES SITE OF THE SÍYĀH-CHĀL)



追放と投獄



バハオラは国から国へと4度にわたり追放され、最終的には当時最も恐ろしい牢獄とされた牢獄の町アッカに追いやられました。だが、何度バハオラを追放しようが、彼のメッセージは広まり続け、その影響力は増していったのです。

最も過酷な牢獄



「私の過ごした日々と、この辺境の牢獄で受けた私の苦難と追放とを
日頃記憶せよ。そして例えあなたの上に敵の剣が雨と降り注ぎ、天地
が共にあなたに刃向かって、決してたじろぐことのない程に私の愛に
確固としたものであれ」
〜バハオラ

真実の光

ペルシャ国王とオスマン皇帝の勢力は、バハオラとその教えに対抗するためにあらゆる手段を尽くしました。しかしながら神の真実の光は、簡単に消せるものではありません。炎を消すためにかけられた水は油の如く、火の勢いは増すばかりでした。

絶え間なく続く迫害にもかかわらず、バハオラは40年以上にわたり神の言葉を啓示され、世界に愛と精神的エネルギーをもたらし、新しい世界秩序の基盤を築いたのです。



バハオラの廟

バハオラは1892年に亡くなりました。彼が埋葬された廟はアツカ近郊にあり、バハイはその地を地上で最も聖なる場所と考えています。



『「古来の美」が、鎖で縛られることに同意したのは、人類がその束縛から放たれるようにするためであり、この最も強力な砦のうちに囚人とされることを甘受したのは、全世界が真の自由に達するようになるためであった。地上のあらゆる人々が永続する喜びを得、喜悦で満たされるようにと、彼は悲哀の杯を飲み干した。これは汝の主なる憐れみ深き御方、最も慈悲深き御方の慈悲である。おお神の一体性を信ずる者らよ。われは汝らが高められるようにと、卑下されることを受け入れ、汝らが繁栄するようにと、多様の苦悩に耐えた。全世界を再建するために到来した彼が、いかにして、神と提携した者らによって、最も荒廃した都市の中に住むことを強いられたかを見よ』

ーバハオラ

新しい時代への門～バブ

神の顕示者が現れる時、いつもその方の到来を告げる人が先に現れます。例えば、キリストが知られる何年か前に、バプテストのヨハネが来て、人々に救世主の到来を告げました。

同じようにしてバハオラが使命を宣言される前に、神は特別な使いをつかわされ、バハオラの到来を告げるようにされました。この偉大な使者の名前はバブでした。





バブの名は「門」という意味を持ち、彼はその名の通り、「神の知識への門」であり、「人類の新しい時代に至る門」としての使命を全うしました。

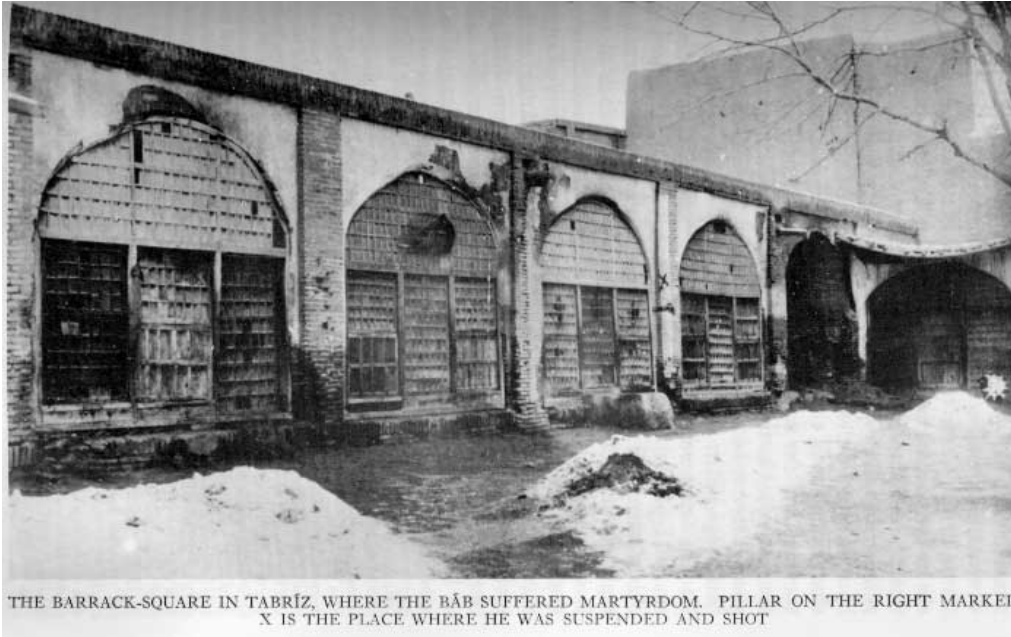
「神の顕示者の到来が近い」ことを告げたバブは、6年間、休むことなく「約束された御方を認めることができるよう、心を清めるように」と人々を教えられました。

バブの迫害とその影響



瞬く間に大勢の人々がバブのメッセージを受け入れ、教えに従いました。
しかし大衆を統治していたペルシャ王国と力のある聖職者達は権力からの失墜を
恐れ、バビ教徒の迫害を決行。二万を超えるバビ教徒が殺されました。

バブの殉教



「バブを殺せば、その勢いもとまろう」と、当時の権力者と聖職者たちはバブの処刑を決定した。

大観衆が見守る中、バブの体はタブリーズの街の広場に吊り下げられ、750名の兵士からなるライフル隊の一斉射撃により、バブの公開処刑が行われたのです。バブはこの時、31歳の若さだった。

「神の他に困難を除去し得るものがあるだろうか。おお、神に誉れあれ。彼こそは神におわします。すべてが彼の僕であり、すべてが彼に従うものであります。」～バブ

聖約の中心、アブドル・バハ



過去の宗教では、神の顕示者亡き後に信者間の意見の相違や権力闘争が起き、多くの宗派に分裂するということがありました。

バハオラはそのような分裂を避けるために聖約の力という特別な力を与えました。

バハオラは、御自身亡き後には長男のアブドル・バハに顔を向け、彼の指導に従うよう、書き記されました。

バハオラの言葉の解釈者



アブドル・バハはバハオラの言葉のただ一人の「解釈者」であり、「彼の聖約の中心」と名付けられました。



アブドル・バハはバハオラ御自身によって育てられ、子供ながらにして父の「地位」を認め、バハオラと苦難を共にされました。

バブが宣言したその夜に生まれたアブドル・バハは、1921年の11月に亡くなるまで、バハオラの僕としての人生をまっとうしました。

守護者、シヨーギ・エツフェンディ



アブドル・バハはその遺書の中で、彼の後継者、そして解釈者として、孫にあたるシヨーギ・エツフェンディを任命しました。

その任命を受けてから36年もの間、守護者として祖父の仕事を引き継ぎ、世界中にバハイの名を広め、バハオウの世界秩序を実現するための土台を築きました。

万国正義院



バハオラにより定められたバハイ共同体の最高機関が万国正義院です。

万国正義院は1963年にバハイ共同体の中心地イスラエルのハイファで設立され、以後、全世界のバハイは万国正義院の指導のもとに発展し活動を続けています。

神の顕示者は新たに法をもたらす

「わが僕らの間の愛情ある摂理のランプであり、わが創造物に対するわが慈悲の鍵である」

「わが美を愛するがために、わが命令に従え」

アルコールと麻薬の摂取に関する掟

おお心霊の子よ！われ汝を豊かに創れるに、何故自ら貧しくするや。気高くわれ汝を造れるに、何故自ら卑しくするや。知識の精華もてわれ汝を生ぜしに、何故われより他の者に教化を求むるや。愛の粘土もて、われ汝を造りしに、何故他のものに没頭するや。汝の眼を自らに向けよ。されば、汝の中に、威力に満ち自存するわれを見出さん。

陰口について

おお、わが玉座の伴侶よ！

悪しきことを聞くな。また悪しきものを見るな。汝自らを卑しくするな。嘆き悲しむな。悪しきことを語るな。さればそれが汝に語られることもなし。他人の過ちを誇張して語るな。されば汝自らの過ちも大げさに思われず。何人の屈辱も望むな。されば汝自らの恥もあばかれまじ。かくて汝、儂き一瞬よりも短き生涯の日々を、汚れ無き心と清き信条と純粹なる思考と清められたる性格とを持ちて生きよ。されば汝この死すべき形骸を放棄して、神秘なる天国に入る準備をなし、永遠に不滅なる王国に自由に満足して住むを得ん。

バハオラ

祈り

日々の祈り

神様、あなたが私を創り給いましたのは、あなたを知り、あなたを崇拝するためでありますことを証言いたします。今こそ私の無力なことと、あなたの御力の大きいなることを、また私の貧しさと、あなたの御豊かさとを証言いたします。あなたの他に神はいまさず、あなたは危難の中の御救いに在し、御自力にて存在し給う御方にまします。

バハオラ



子供の教育



神に愛されし者らと慈悲深き御方の乙女らの最初の義務はこれである。つまり、あらゆる手段を尽くして男子と女子両方の教育をすること。

女子も男子と同じように教育をすること。両者の間に違いはない。無知であることは男子も女子も好ましくない。教育を怠ることは男子であっても女子であっても咎められるべきことである。知識ある者となない者が同じと言えようか？

世界文明の構築



個人の役割

個人の義務は次の通りです。

つまり、聖約に確固としていること。バハオラの教えに沿った生活ができるよう日夜努力すること。人類のために奉仕すること。人生は死によって終わるのではなく神とのつながりは永遠であることを常に意識していること。

Community

共同体の役割

人間は1人だけで生きられるようには創られていません。

つまり、私達は共同体の中で生き、新しい文明を築くために共に働かなければなりません。私たちバハイにとっての最も近い共同体は、自分と同じ町や村に住むバハイからなる地方共同体です。

その共同体の中で、私達は協力し合い、共に成長し和合します。地方共同体のメンバーであるということは、全国共同体のメンバーでもあり、更には世界に広がるバハイ共同体のメンバーでもあるということです。バハイ共同体は絶えず拡大を続け、あらゆる宗教、人種、国籍を背景に持つ人々を魅了しています





機構の役割

バハオラは教えの中に彼自身の行政機構をもたらされました。

今までの宗教では、信者らは組織を維持する方法について顕示者からほとんど指示を受けていませんでした。しかしバハオラは、私たちが作るべき機構やその機能の仕方、人類がどのように統治されるべきかについて教えられました。

バハイの最高機関は万国正義院です。バハイは一年に一回、国ごとに全国精神行政会を選出し、地方においては地方精神行政会を選びます。共同体の様々な事柄を導き、個々の信者が健全で幸福な生活を送れるよう見守るのは、地方精神行政会です。それは9人のメンバーから成り立ちます。

そのメンバーを選ぶ選挙は祈りに満ちた雰囲気の中で、共同体の全ての成人信者による無記名投票で行われます。精神行政会は、バハイにとって極めて重要な機構です。と言うのはその機構によって私たちは人間の様々な事柄がどのように運営されるべきかを学びます。さらに「バハオラの世界秩序」として知られる新しい秩序が社会でどのように築き上げられるのかも、機構を通して学びます。

精神的成長のための祈り

● 神よ。私の精神を活気づけ喜ばせ給え。
私の心を清め、私の力を輝きあるものとなし給え。
私はすべてのあなたの御手にゆだねまつりました。
あなたは私を導き給う御方に在し、私のかくれ家にまします。
もう私は悲しみもせず、悩みもせず、
幸せな喜びに満ちた者になります。
神よ、私はもう憂いに心を満たすこともなく困難にも負けず、
人生の不快なことにもわずらわされません。
神よ、あなたは私自身よりもっと私に親しい御方に在します。
おお主よ、私のすべてをあなたに捧げまつります。

アブドル・バハ